

2019 年度(令和元年10月～令和2年9月) 事業報告書

2020 年度(令和2年10月～令和3年9月) 事業計画書(案)

2020 年(令和2年)11月8日



埼玉県ふじみ野市上福岡5丁目4番25号
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

理事長 石井ナナエ

事業報告一覧.....	2	5 子どもの健全育成	
総括報告.....	3	5-1 国際子どもクラブ.....	10
		5-2 ベネッセ子ども基金助成事業.....	11
1 外国人籍等市民の人権擁護と自立支援		6 外国人への緊急時対策 (2019年度は事業なし)	
1-1 生活相談.....	3	7 まちづくりの推進	
1-2 生活相談勉強会.....	5	7-1 行政との協働事業.....	14
1-3 パソコン教室.....	5	7-2 インターンシップ.....	15
2 国際理解教育と国際交流の推進		8 NPO への助言・援助 (2019年度は事業なし)	
2-1 国際理解講座.....	5	9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	
2-2 国際交流.....	6	9-1 機関誌「ハローフレンズ」.....	16
3 多言語情報の収集と提供		9-2 ホームページ・Facebook・インスタグラム..	17
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」..	7	9-3 FICEC 利用.....	18
3-2 翻訳.....	8	9-3-2 見学希望と事業の協働依頼.....	18
3-3 通訳.....	9	9-4 総会・理事会・スタッフ会議.....	19
4 外国籍児童並びに成人への日本語指導			
4-1 日本語教室.....	9		
4-2 大井親子日本語教室.....	10		

事業計画 (案)	21
----------------	----

事業計画一覧	
--------	--

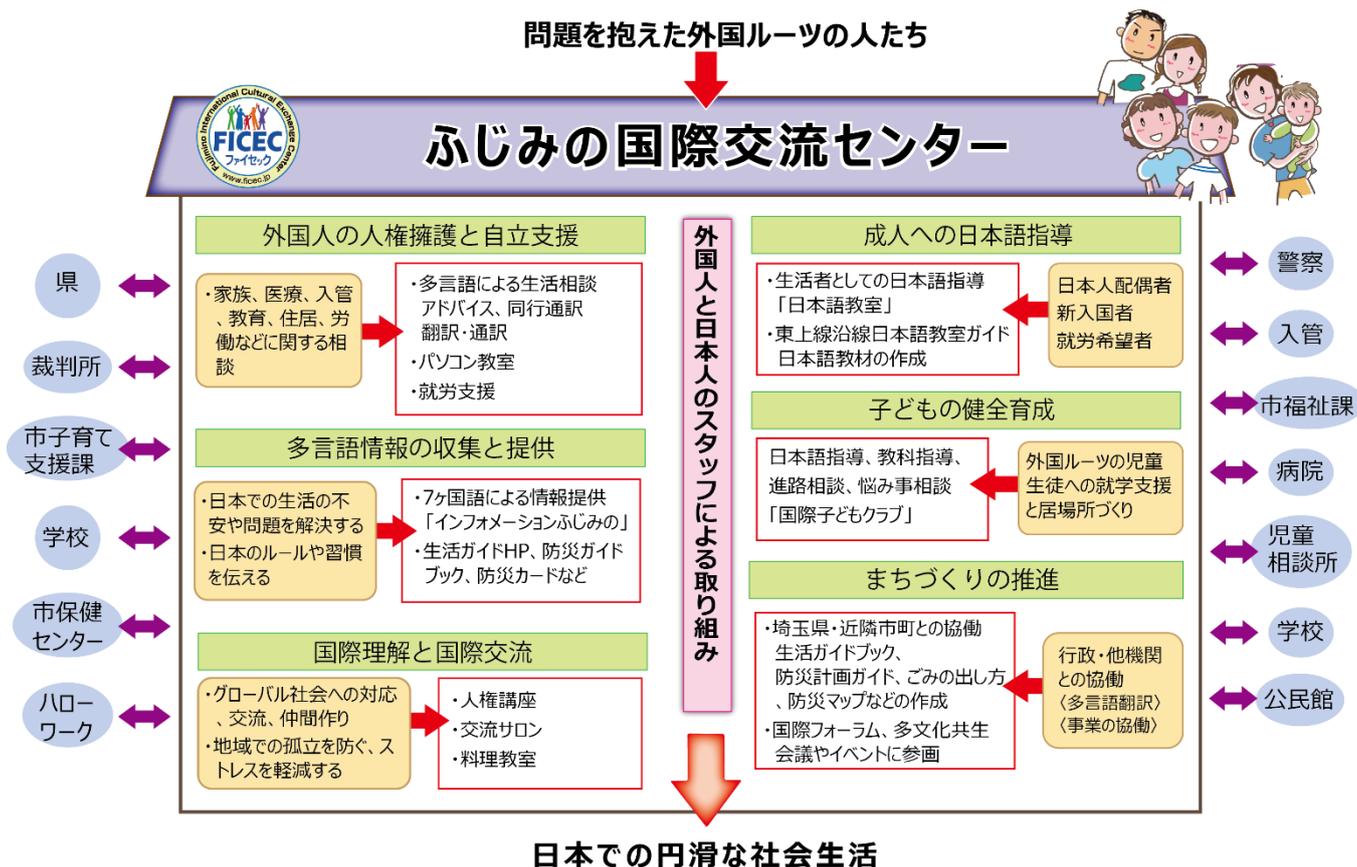
キーワード 多文化が未来を拓く

ミッション

ふじみの国際交流センターは富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国ルーツの人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現を目的とする。

ビジョン

子どもの教育	日本に暮らす外国ルーツの子ども達が、等しく教育を受け、基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援する
多言語情報	情報やコミュニケーション手段が不足していることで不利な状態に置かれている人に多言語や、やさしい日本語で情報を提供し、安心、安全な基本的生活を送るための支援をする
日本語支援	日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援する 一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう支援する
生活相談	相談者の直面している困難に対応し、生活状態の向上につながるよう支援する
国際交流	日本人と外国人が互いの独自性に誇りを持ち、自由に考えを表現できる交流の場を作る
社会的役割	日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となる 外国人を取り巻く現状を伝え、多文化がもたらす豊かさと課題を社会に発信する



2019年度(2019年10月～2020年9月) 事業報告

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	支出額(千円)
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10人	533件	1,746
	生活相談ガイドブックの発行	1,000部	FICEC	5人	埼玉県民	
	生活相談勉強会	6回	FICEC・弁護士会館	10人	533人	
	パソコン教室	第2・4木曜日10回	FICEC	2人	延64人	
国際理解教育と国際交流の推進	国際理解講座	22回	大学、社協 他	2人	約2,000人	522
	国際交流サロン・イベント	8回	FICEC他	7人	約1,200人	
	大学との協働	1大学 3回	大学・FICEC	5人	延45人	
多言語情報の収集と提供	多言語生活情報誌の発行	6回1800部	FICEC	13人	12万人	2,581
	生活ガイドHP維持管理	必要に応じて	FICEC	8人	約45万件	
	翻訳	146件	FICEC、県内	9人	埼玉県民	
	同行通訳	118件	病院他	12人	埼玉県民	
外国籍児童並びに成人への日本語指導	日本語教室	木曜日を中心に通年	FICEC	15人	延220人	21
	大井親子日本語教室	毎週土曜日	大井中央公民館	5人	延64人	
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜日を中心に通年	FICEC	18人	延374人	1,164
	ベネッセ子ども基金	月～金10:00～12:00	FICEC	延210人	延202人	
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	30人	埼玉県民	0
	行政関係会議・他団体との交流	20回	県内	5人	埼玉県民	0
	インターンシップ	12回	FICEC	5人	12人	0

《総括報告》

事業期間を10月から翌年9月に変更して3年目に入り、やっと慣れてきた感がある。

年度の前半は出入国在留管理庁（以下、入管庁）の開設、特定技能の新設、共生のための総合的対応策の導入など、いつもに増して在留外国人対策が声高に叫ばれた期間だった。

ところが後半の3月から9月は、世界中のだれもが想像だにできなかったコロナが蔓延し、ふじみの国際交流センター（FICEC）も市役所に倣って3～5月は生活相談と翻訳事業と、ベネッセ子ども基金助成事業「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動」に向けての準備だけを行い、他の事業は休止した。

コロナに対しての危機管理意識の強い理事さんが、早々に飛沫防止シートを作ってくださいと、すぐに設置し、消毒、換気、マスクの着用を義務付け、万全を期して6月からすべての事業を開始した。

毎日10時～12時までのベネッセ子ども基金助成事業に重ね、近隣の日本語教室の休校に伴う他の教室の生徒の受け入れを容認したため、9月を迎えた現在は毎日大勢の人が訪れ活発に活動している。

収入面をみると会費収入が例年の70%、個人翻訳依頼は25%、出張国際理解の講師依頼に至っては3月以来7か月間ゼロという寂しい状況が続いている。

それでも何とかFICECが事業継続できているのは、コロナ禍にもめげず、懸命に活動してくれているスタッフの覚悟と、予算を上回る皆様からの温情あふれる寄付があったからこそで感謝に堪えない。これからもThink Global Act Localを基本理念に、SDGsの精神をかみしめつつ、業務に邁進していきたい。

（文責：石井ナナエ）

1 外国籍等市民の人権擁護と自立支援

■1-1 生活相談

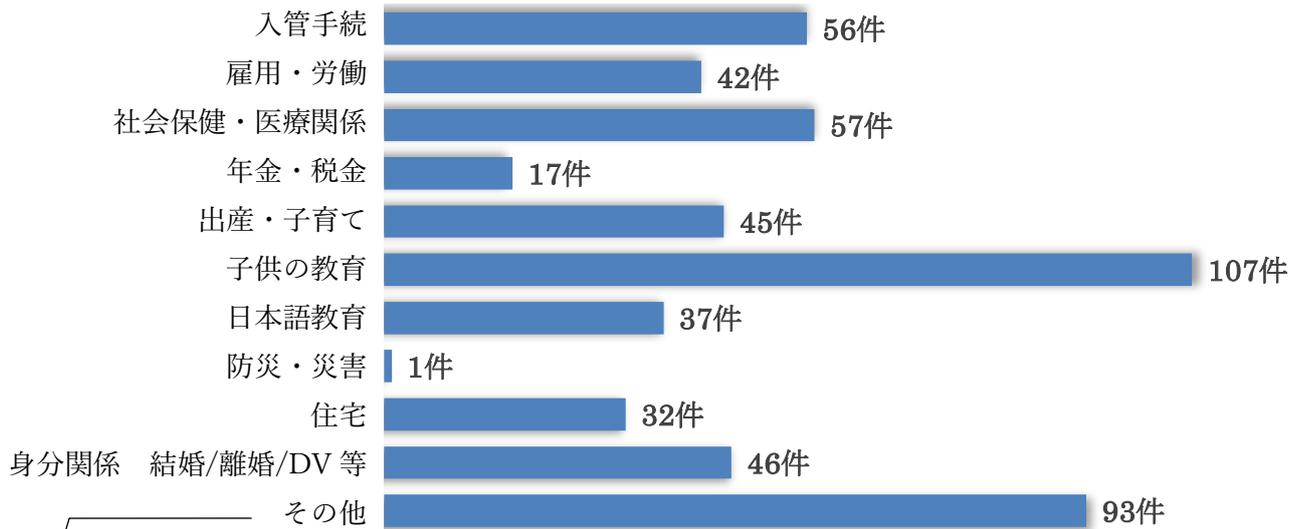
特定技能資格の創設や難民法の改正、家族滞在ビザから特定活動に変更可となったこと等、入管法が大きく変わったのを機にコープみらいから頂いた助成金を基に「外国人生活相談入門書・サイドブック」を1,000冊作成し、県内各所に無料配送した。この本を使った外部での学習会はコロナの影響で実現できなかったが、FICEC関係者間での学習会は続いていて、県内の皆さんに活用されることを期待している。



航空機のロックダウンが長引くにつれ、外国人生活相談の内容も失業・生活困窮・家賃の未払・出産・入院、給付金の申請方法、貸付金の内容、ビザの期限切れ等、例年とは違う相談が多数持ち込まれた。入管法も日ごとに変わりその情報収集と外国人への周知、徹底を図っている。

2019年度（2019年10月～2020年9月）に受けた相談内容の内訳

合計 533件



※継続的に対応している日本語支援や学習支援は1人につき、1回/月として集計

その他の主な内容

- ・ 自転車を盗まれた
- ・ 日本国籍がとりたい
- ・ お金がない
- ・ 銀行口座を開設したい
- ・ マイナンバーカードの通知が届いた
- ・ カレー店が閉鎖、生活苦
- ・ 生活支援金
- ・ 定額給付金
- ・ 生活保護
- ・ 緊急事態宣言後収入がない
- ・ 夫がお金に細かい
- ・ 近所との付き合い
- ・ 定期券の作り方
- ・ コロナに伴う収入減
- ・ 経営者融資の書き方
- ・ 難民申請中、食べ物がない
- ・ 社会福祉協議会への借入金申請
- ・ 国勢調査

相談者の国籍（ルーツを含む）

フィリピン	151	コンゴ	8
日本	118	インド	5
中国	75	ナイジェリア	5
ネパール	50	メキシコ	5
バングラディシュ	33	スリランカ	4
パキスタン	19	タイ	4
韓国	13	台湾	4
カメルーン	9	その他	22
インドネシア	8	計	533

日本人からの相談
外国人担当の行政職員、外国人関係施設の担当者、日本人配偶者、日本人の知り合いなど

その他の国籍
セネガル、イラン
コンゴ、ベトナム
ブルキナファソ、
ミャンマー、
ロシア ほか

相談者の住所

ふじみ野市	282
富士見市	81
川越市	49
三芳町	46
新座市	22

坂戸市	5
朝霞市	4
毛呂山町	4
蕨市	4
その他	36
計	533件

その他の住所

上尾市、入間市、志木市
東松山市、熊谷市、越谷市
さいたま市、千葉県
鶴ヶ島市、東京都、所沢市
ほか

■1-2 生活相談学習会

11/24	ミック医療通訳研修会報告
12/6	非正規滞在者について他 霞が関弁護士会館
12/12	生活相談担当者研修会 上福岡市西公民館
2/17	関東弁護士連合会研修「新しい外国人労働者の受入れ制度」弁護士会館
2/27	生活相談担当者研修会 上福岡西公民館
8/25	担当者研修会「インターンシップ生と共に」FICECにて

■1-3 パソコン教室

定着したメンバーで楽しく事業を進めている。新しい学習者や FICEC の活動に役立つ技術習得を目的とするスタッフの参加も受け入れていきたい。現在は開講が難しい状況にあり、3月から9月は休講とした。



	10月	11月	12月	1月	2月	計
外国人	7	6	5	7	6	31
日本人	6	10	4	6	7	33
合計	13	16	9	13	13	64

2 国際理解教育と国際交流の推進

■2-1 国際理解講座

今年度の前半の6か月に22回の依頼があったのに対し、後半の6か月間は依頼ゼロだった。

今年の特徴は文科省が外国籍の子どもを「共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であること」と認め、様々な支援策を自治体に求めたことから、小中高等学校の先生を対象とした講座の依頼が増えた。

10/3	伊奈町「世界を拓げよう外国から来た人とのつきあい方」
10/11	ふじみ野市民生委員会「外国人とどう接したら良いか」
10/17	生きがい大学川越「ボランティア活動の勧め」
10/18	所沢人権教育「外国人の人権」
10/19	羽生市教育委員会「外国人の人権」

10/25	生きがい大学春日部「ボランティア活動の勧め」
10/29	生きがい大学入間「ボランティア活動の勧め」
11/5	川越高校職員研修「外国人差別」
11/6	坂戸市高齢者学級「地域で暮らす外国人」
11/6	坂戸市公民館人権講座「外国人の人権」
11/7	坂戸市女性セミナー「外国ルーツの子ども達」
11/19	ルーテル学院大学「異文化社会で生活する外国籍住民の課題と支援の実在について」
11/12	戸田市人権講座「新たな外国人の受け入れと差別」
11/25	高等学校人権教育専門委員会「外国籍の子どもと保護者問題」
1/10	草加市人権を考える市民の集い「在留外国人が抱える問題」
1/16	和光市子育てサークル「多文化支援をするとき心がけること」
2/2	上福岡西公民館「日本語ボランティア養成講座」
2/4	北足立人権教育講座「外国人支援から見えてきた外国人事情」
2/5	入間地区小学校長人権講座「外国籍の子ども」
2/7	上里町人権講座「外国人差別と外国人の人権」
2/17	千代田生涯学習講座「FICECの活動と多文化共生」
2/22	全国ボランティア連絡会「ボランティアの価値と多様性」

■2-2 国際交流

2019年5月から、毎月第4週末に「Cafe FICEC」という名前で、交流会を始めた。

普段、相談や困ったことでFICECへ来る外国人が、気軽にFICECへ来られる日を作りたい。そして、スタッフと相談者の関係ではなく、友達として付き合い、外国人同士の仲間の輪を広げたい。地域の方に、「外国人の友達が出来るといい」事の楽しさを知ってもらいたい。スタッフやボランティアの間の親睦を図りたい。こうした沢山の思いを詰め込んで始めた「Cafe FICEC」

は、しかしコロナによって中断を余儀なくされた。「お国自慢交流会」を通じて、外国人から国の話を聞くことで、FICECに居ながらにして世界旅行が楽しめるはずであったのに、残念でならない。

今現在、様々な分野で外国人が働いているが、まだ外国人を雇うことへの戸惑いを感じている事業主も少なくない。それは、言葉が通じない、文化が違うなどの事情で、会社のシステムと既存の社員の認識を大幅に変えることへの負担が、最大の理由であろう。しかし、それはお金と時間がかかるデメリットだけではない。システムを変える・認識を変えることは、進化していくことでもある。外国人には入りにくい公民館が、どうすれば地域に住んでいる外国人も気軽に利用できるか考え、新たな文化施設へと生まれ変わる努力を続けることは、まさしく進化することにほかならない。難しい専門用語が多く、外国人が入ると日本人の職員の仕事が増えるなどの認識で、受け入れに消極的であった介護施設も、いろいろな工夫をして、日本人と外国人が共に働きやすい環境を整えることで、大きく進化しようとしている。

これからも国際交流を通して、外国人も働きやすい・住みやすい地域を作っていきたい。このことは、



結果的に日本人にとっても、働きやすい・住みやすい地域づくりに貢献する。なぜならば、日本人も外国人も同じ人間であり、外国人にとって働きにくい・住みにくい地域は、そのまま日本人にとっても、同じく働きにくい・住みにくい地域だからである。

10/23、1/21、7/20	介護安定センター委員会 /カリタスホール
10/23	多文化共生キーパーソン /知事会館
10/27	Cafe FICEC チュニジア交流会 /FICEC
11/6、27	多文化共生をについて考える /埼玉県民活動総合センター
11/12	在留外国人と支援活動 /浦和コミュニティセンター
11/24	Cafe FICEC フィリピン交流会 /FICEC

3 多言語情報の収集と提供



■3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」

1 ページ目には主に入管法や制度など、在留資格に係わる情報や行政からのサービスを「早く、正確に、わかりやすく」解説し、2 ページ目には FICEC の活動や円滑な生活のための情報を掲載している。最近、行政からの記事掲載依頼も増えている。この情報誌が「外国人に届けたい情報」と「外国人が必要としている情報」双方の役割を持ち、広く活用してもらえよう編集会議を重ねた。

これまで長く、「インフォメーションふじみの」を導いてきた編集長の岩田さんは常に「生活者としての外国人」に目を向け、この情報誌を大切に作成してきた。今後もその意思を心に刻み指針としていきたい。

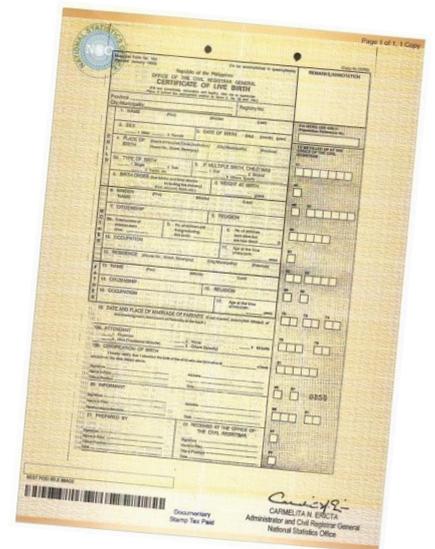
- 翻訳言語 [中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語]
- 発行回数 [隔月刊 年6回]、発行部数 [1800部]
- 配布場所 [県内国際関係機関やふじみ野市、富士見市、三芳町の公的機関、日本語版のみ FICEC 全会員に郵送]

236号 11,12月号	あなたと家族を守る「国民健康保険」 ・病院でのマナー「分かっていても、もう一度チェック！」 ・ FICEC 交流会 Café FICEC ・スマホ対応「富士見市ごみ分別アプリ」配信スタート！ ・「和食」料理教室を実施しました
237号 1,2月号	埼玉県でただ一つの『夜間中学校』を知っていますか ・妊娠と診断されたら何をすればいい？ ・通訳・翻訳者ボランティアを募集します ・ FICEC 交流会 Café FICEC ・日本語教室「書初め」
238号 3,4月号	生活に役に立つ便利なサイト「病気・子育て・教育・災害」 ・東上線沿線にある「日本語教室」・日本で働くとき、日本語習得が好条件の鍵となります ・ FICEC 交流会 Café FICEC ・ FICEC 日本語教室 ・しっかり手洗い、うがいを習慣にしましょう ・通訳・翻訳者を募集します

239号 5,6月号	会社に雇われている外国人の皆さんへ（新型コロナウイルス感染症に関する情報）
	・生活相談あれこれ ・ふじみ野市と三芳町の粗大ごみが一部有料になりました ・お子さんの予防接種を忘れないで！ ・毎日チェック！多言語ニュースサイト ・翻訳します「独身証明書、出生証明書など」
240号 7,8月号	保育所・幼稚園の相談は早めに来てください
	・生活相談あれこれ ・ FICEC は活動を再開しました ・「インフォメーションふじみの」各翻訳者と表紙デザイン担当の紹介 ・多言語情報誌「インフォメーションふじみの」編集長岩田さんの意思をつなぐ
241号 9,10月号	国籍に関係なく、日本に住んでいるすべての人が対象です「国勢調査」
	・生活相談あれこれ ・ふじみ野市「生活ガイド」にやさしい日本語版ができました ・マイナポイント「マイナンバーカードは持っていますか」 ・毎日、日本語の勉強ができます

■3-2 翻訳

コロナ禍の影響で依頼者数及び件数は昨年度に比べると大幅に減少した。総件数は昨年度 247 件だったが、今年度は 146 件で 59%に減少した。依頼者の国籍で最も多かったのはフィリピンで 88 人中 55 人で全体の 63%だった。次に多かったのはネパール人の 15 人で全体の 17%となった。翻訳内容で最も多かったは例年通り出生証明書で、146 件中 47 件（32%）と、総数の約 3 割を占めた。次に多かった婚姻証明書は 15 件で総数の 10%だった。昨年度は出生証明書と婚姻証明書の 2 種類で総数の 64%を占めたが、今年度は総数の 42%に留まり翻訳内容が多岐に渡ったことがわかる。



依頼者の国別表

フィリピン	55
ネパール	15
日本	6
スリランカ	4
中国	2
イラン	2
コンゴ	2
ベトナム	1
ガーナ	1
合計	88人

依頼内容

出生証明書（英→日）	47
婚姻証明書（英→日）	15
家族関係証明書（英→日）	8
Love Story（英→日）	5
独身証明書	3
病院関係（英→日）	3
戸籍謄本（日→英）	6
住民票（日→英）	4
給料明細（日→英）	10
納税/課税証明書（日→英）	4
給料明細（日→英）	10
在職証明（日→英）	2
その他	29
計	146件

■3-2 通訳〔同行通訳〕

同行通訳事業は、2017年は「埼玉県国際交流協会」から、2018年度には「一般財団法人自治総合センター（宝くじ組合）」からの助成金で同行通訳システムの構築を果たすことができた。今年度（2019年）は「中央ろうきん若者応援ファンド」からの助成金によって実施できた。助成金の有無によって同行通訳の事業の継続が課題になっている。引き続き同行通訳支援の輪を広げることができることを願っている。

同行通訳は行政、医療、法律、生活等多岐にわたり、外国人が直面する言葉の壁、システムの壁、心の壁に寄り添っての通訳はもちろん、それ以上に激励や生活指導などの支援が必要となる。親権争いの調停の通訳、児童相談所での親子の通訳、遺産相続に関連する一連の手続き、そして、特に医療分野の通訳依頼は多く、通訳者は細心の注意を払って対応している。心療内科、産婦人科、心臓外科など専門的用語を通訳者自身が事前に調べておく必要があり、通訳者たちの語学研鑽も続けていき、研修を充実させていかなければならない。又特に東南アジアをはじめとする多言語に対応できるよう通訳者養成も不可欠である。

1. 同行通訳の派遣

- ①派遣先 全 118 カ所
- ②言語 9 カ国語（中国語、英語、タガログ語、スペイン語、ベトナム語、ビサヤ語、ヒンドゥー語、韓国語、ウルドゥー語）
- ③国籍 18 カ国語（中国、フィリピン、ウガンダ、ベトナム、スペイン、アメリカ、インド、メキシコ、スリランカ、エジプト、ガーナ、パキスタン、ペルー、韓国、インドネシア、ジャマイカ、チュニジア、バングラデシュ）

2. 家庭調査

- ①アンケート調査（FICECの利用者を中心にアンケートを配布）集計と分析
フィリピン6名、中国4名、バングラデシュ3名、パキスタン1名、台湾1名、エジプト1名
- ②インタビュー調査
8、9月に実施したインタビューデータの分析、結果まとめ
- ③検討会議と医療通訳学習会議 9回

4 外国籍児童並びに成人への日本語指導

■ 4-1 日本語教室

10月から1月までの学習者は大変多く、不足していたボランティア希望者も増えていたが、年明け以降の新型コロナの蔓延により、2月の最終週から5月末まで日本語教室を閉鎖した。

5月、教室の代表者が亡くなり、引継ぎを行った。6月に教室を再開した。その際、感染防止対策として①手の消毒、②検温、③机の向きを同一方向にする、④透明シールドの設置、⑤教室の開始前と終了後に机と椅子の消毒、⑥学習者を7人までに制限するなどをフェイスブック等で通知して参加を呼びかけた。しかし学習者は大幅に減少し、ボランティアのからの参



加辞退希望も多かった。7月から9月まではベネッセ子ども基金助成事業に参加する形でスタッフと留学生で教えていた。ボランティアの数名の参加希望もあり、10月からはボランティアの人数を制限し日本語教室として再び出発する予定である。

① 学習者概要と学習者

学習日時	毎週木曜日 10:00~12:00 (祝日、お盆8/12~15、年末年始12/22~1/5は休講) 2/27~5/28 新型コロナにより閉鎖
開講回数	38回
学習者数	延べ人数220人、平均5.8人、
国別学習者の 順位	参加14カ国 1 中国 2 フィリピン 3 韓国 4 スペイン 5 メキシコ



② 日本文化を味わってもらふ事業として、1月に学習者とボランティアで書初めを行った。

③ 東上線沿線日本語教室ネットワーク

1月、「新座日本語の会」を幹事として新座市東北コミュニティセンターにおいて開催した。FICEC 日本語教室2名が出席して各教室の現状報告をした。

8月の幹事は FICEC だったが、新型コロナの影響で会は中止とした。代わりにメールで各参加団体にコロナ禍での教室の運営状況についてアンケートを取り、まとめたものを送付した。

■4-2 大井親子日本語教室

2020年2月から9月はコロナの影響で活動を休止した。

5 子どもの健全育成

■5-1 国際子どもクラブ

1 参加者 (毎週土曜日)

・学習者 計43名 ・学習ボランティア 計18名

(のべ人数)

月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
生徒数	55	62	47	38	37	0	0	3	29	33	39	31	374
指導者	30	41	33	29	32	0	0	3	26	22	34	19	269
計	85	103	80	67	69	0	0	6	55	55	73	50	643

2 取り組み

(1) 前半10月から2月までの取り組み

- ・毎回15~6名の参加者が定着した。特に小学生の学習者が増えた。
- ・学習塾に通う生徒が増えた。そのため、中学生の参加が減った。
- ・高校生から進路相談、留学相談、ビザの相談を受けた。
- ・居場所や遊び場所として利用するようになってきた。

- ・多彩な学習ボランティアが参加しているので、日本語学習や教科学習以外の支援もできて、皆さんの熱心な指導にとっても助けられている。

(2) 再開した5月以降の様子 3月から5月後半まで長期休業、5月30日より再開した。

- ・小学生の参加がほとんどいなくなった。
- ・連絡が途絶えた生徒がいる。
- ・長い自粛期間あけには生徒達の疲れが目立ち、生活リズムを立て直すのに苦労している様子が見えた。学習に集中できる時間が少なくなった。
- ・受験生に対して、十分な支援が出来なかった。
- ・学習後の皆の交流が出来なくなり、楽しい時間を奪っているようで辛かった。
- ・土曜日にボランティアができなくなった支援者が多くなった。(理由：コロナが心配なので、遠慮したい。リモートで土曜日に仕事が入るようになった。土曜日に大学の授業が入るようになった。遠方から通うのに抵抗がある。)
- ・2学期から月1回、小中学校が土曜日を登校日にしたため学習者が減った。



3 学習者のルーツ 今年度登録生徒 計43名

中国	20名	フィリピン	12名	ネパール	6名
スリランカ	1名	パキスタン	1名	アメリカ	1名
ウズベキスタン	1名	日本	1名		

■5-2 ベネッセ子ども基金助成事業

「留学生や母語話者による来日直後の外国人親子に対する日本語学習支援と相談」

1. 担い手の育成

担い手を育成するための研修を行った。研修では、来日直後の親子の不安を和らげるために母語や英語で十分に話しを聞くことと、子どもが学校に通いたいと思えるように支援を行うことを伝えた。

新しく作成した教材(3種類)の使い方と、日本語支援のための「教え方講座」を行った。

<スタッフ・母語話者への研修>

第1回講座	6/9(火)	事業の目的について。来日直後の保護者への支援の方法	14名
	6/10(水)	日本語を教えるときの心構え。日本語の教え方	5名
第2回講座	6/23(火)	子どもへの指導方法	9名
	6/24(水)	子ども用教材の使い方	11名
第3回講座	6/30(火)	休憩時に使う教材の使い方。大人用教材の使い方。	11名
	7/1(水)	ひらがなの教え方	9名

<留学生・大学生への研修> (参加者：6名)

6/9(火)、6/15(月)、6/23(火)、6/28(月)、6/30(火)、7/22(水)、7/29(水)

2. 地域社会に対するPR

5月	各団体に合わせて6種類のチラシ作成・申込書など作成
6/9	ふじみ野市協働推進課・市民課訪問
6/10	富士見市 ふじみ野市教育委員会訪問

6/16	ふじみ野市教育委員会訪問
6/23	三芳町教育委員会訪問、町内の小・中学校、公民館にチラシ配布 富士見市内小・中学校にチラシ配布
6/24	株式会社 GALAXYTRADING 訪問・チラシ ふじみ野市社会教育課訪問
6/30	近隣の4企業5ヶ所訪問 株式会社関東ダイエットクック、株式会社武蔵野フーズ、サイキ食品(株) ふじみ野工場、 株式会社十勝大福本舗東京工場ふじみ野工場
7/27	夏休みに向けて、2市1町内の小・中学校にチラシを宅配で発送 ふじみ野市教育委員会訪問、教育委員長と面談

チラシ送付先

<p>● 留学生募集</p> <p>立教大学新座キャンパス、淑徳大学、跡見大学、尚美大学、東京国際大学、文京学院大学、中央情報専門学校</p>
<p>● 外国人募集ー行政及び学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市／教育委員会、協同推進課、市民課、市内の全小・中学校 ・富士見市／教育委員会、協同推進課、市民課、市内の全小・中学校 ・三芳町／教育委員会、町内の全小・中学校
<p>● 外国人募集ー企業</p> <p>株式会社 GALAXYTRADING、株式会社関東ダイエットクック、株式会社武蔵野フーズ サイキ食品(株) ふじみ野工場、埼玉物産、株式会社十勝大福本舗東京工場（三芳町所在）、 株式会社十勝大福本舗・ふじみ野工場、有限会社吉縁、マザーアース</p>

3. 教材の選択とマニュアル作成

(1) 大人のための教材「にほんごでくらそう」

全く日本語が話せない大人を対象とした。

通常の日本語教室に来る学習者の平均来所回数は6、7回程度。それにより全部を6つのパートに分け、通える回数の範囲内で学習できるように計画した。

挨拶、数、時計、お金、年月日の読み方、助数詞、身体の部位など毎日生活する上で最低限必要な言葉と基礎的な動詞、助詞等の文法を学習することで、周りの日本人との意思疎通を図れるようになることを目標とした。

なるべく字を大きくしイラストで分かりやすくするため内容も絞った。

外国語を使用しての病院受診や電話で用件を伝えることはハードルが高い。

「病院での医師との会話」、「子どもが学校を休むときの電話」、「電車が遅れて遅刻することを報告する電話」など定型文を覚えることで、少しでも障壁が取り除けるのではないかと。

同様に日本語の出来ない外国人の多くは野菜工場やお弁当工場で働くことが多いが、危険を知らせる言葉を学習することで工場内での事故や怪我などから身を守るよう工夫した。

また、早いうちにひらがなを覚えて読み書きができるようひらがな練習も付けた。

教材は学習者に配布して、個人でひらがなを練習、内容の復習ができるものを制作した。

(2) 来日直後の子ども日本語指導「はじめのいっぽ」

作業日程	会議記録
5/13 (水)	作成資料案を基に、全体の構想を検討 骨子の作成と資料担当を分担した
5/20 (水)	分担した資料の内容確認と訂正 イラストの確認 → 各自資料訂正
5/27 (水)	資料の作成と作成資料の最終確認
6/3 (水)	作成資料の最終確認と訂正
6/12 (金)	印刷作業
6/17 (水)	ファイル詰め作業⇒完成



(3) いっしょにあそぼう Let's Play Together!

- ・ 2時間の日本語指導中に休憩をとる際に、頭の体操、切り替えをするためのものとし、又教材を通して日本文化をゲーム感覚で学んでいく目的とした。
- ・ 対象年齢を6歳から30歳とし、言語を問わずに利用できる内容にし、初級、中級、上級レベルの教材を選定した。
- ・ 塗り絵、ゲーム、パズル、違いを発見、同じ仲間を見つける、迷路、ひらがなカードゲーム等、なるべく説明は最小限にして誰でも理解できるものを作成した。
- ・ 間違い探しの素材を編集し、白黒でも使えるようにした。

4. 日本語指導

1. 指導者人数

	留学生	母語話者	スタッフ	指導者計
7月	17	18	33	68
8月	34	15	28	77
9月	32	12	21	65
計	83	45	82	210



2. 学習者人数

	ネパール	バングラデシュ	コンゴ	スリランカ	メキシコ	ブラジル	パキスタン	ベトナム	カメルーン	ウガンダ	フィリピン	スペイン	ブルキナファソ	セネガル	ウズベキスタン	インドネシア	学習者計
7月	4	15	17	4	7		3	4	3		1	2	1	3			64
8月	2	1	14		14	6	15	4	5		5	1	2		1		70
9月	5	1	6	1	16		14	1	8	6	7			1		2	68
計	11	17	37	5	37	6	32	9	16	6	13	3	3	4	1	2	202

令和元年度、外国人への緊急時対策事業はありません

7 まちづくりの推進

■7-1 行政との協働事業

総収入の21%、事業収入の44%を富士見市・ふじみ野市・三芳町・埼玉県からの業務委託に頼っている FICEC にとって自治体と連携・協働することは必須で、ハウレンソウ（報告・連絡・相談）は外国人支援の充実と事業の存続に欠かせない。

生活相談窓口業務委託		
ふじみ野市	火・水・木 10:00～16:00 月・金 13:00～16:00	週5日
富士見市	木 13:00～16:00、金 10:00～13:00	週2日
三芳町	月 10:00～13:00、木 10:00～13:00	週2日

県や市町の多文化共生推進会議・人権推進会議の審議委員や社会教育・要保護児童対策審議会委員など「頼まれたら断らない」を実践し、現在15の委員会の委員として理事・スタッフが関わっている。

毎年1回、『2市1町国際化担当者会議』では外国人の現状と課題について職員の人たちと侃々諤々の話し合いがもたれていて、市民の声に耳を傾けて下さる行政の姿勢にいつも感謝している。

10/2、10/30、1/9	ふじみ野市教育振興計画審議会
10/23、1/22、8/19	ふじみ野市要保護児童対策地域協議会
11/10	ふじみ野市防災訓練
11/24	防災訓練 /富士見市役所
12/15、1/11、3/8	新たな文化施設を考える市民ワークショップ /ふじみ野市役所
12/23	ふじみ野市協働のまちづくり会議 /ふじみ野市役所本庁舎
1/21	埼玉県人権教育推進協議会 /県民健康センター
2/4、7/14	埼玉県多文化共生会議 /埼玉会館
2月	埼玉県国際課外国人アンケート協力
3/8	新たな文化施設を考える市民ワークショップ /ふじみ野市役所
3/16	児童館運営委員会
6/23、7/14、9/1、9/17	ふじみ野市平和事業
7/29	ふじみ野市 子どもの学びヒヤリング 社教・総合支援チーム担当者
7月	ふじみ野市長・協働推進課長との会見
7/10、8/26	大井東中評議委員会
7/16、8/18、9/16	県生涯学習課とふじみ野市社会教育課「ふじみ野市西小学校と FICEC でのモデル事業」(3年計画)
8/25	2市1町多文化共生会議 /ふじみ野市役所
8/25	ふじみ野市子地域力強化推進事業
9/11	ふじみ野市平和事業
9/28	ふじみ野市地域福祉計画審議会 /大井総合支所

委託事業、翻訳・編集事業

埼玉県	
・埼玉県国際課「外国人の生活ガイド」翻訳	英語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語
・埼玉県男女共同参画課「DVリーフレット」	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語・ネパール語・ベトナム語・タイ語
ふじみ野市・富士見市・三芳町	
・「外国人生活相談窓口業務」(参照 1-1)	
・「外国籍市民のための生活ガイドホームページ維持管理業務」	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・タガログ語
ふじみ野市	
・「生活ガイドブック」更新、やさしい日本語追加	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・やさしい日本語
・市民課通知「転出証明書」「転入届の特例」「マイナンバーカード」	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語
・生活福祉金に関する重要事項説明書	英語・タガログ語
・家庭ごみの分け方・出し方	英語・中国語・韓国語・タイ語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・ネパール語
・粗大ごみ周知チラシ	英語
・社会福祉協議会「社会福祉資金、念書」	英語・フィリピン語
・「特別給付金申請書」	英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・フィリピン語・ベトナム語
富士見市	
・「ごみ分別アプリ」	フィリピン語・ベトナム語
・「ごみ分別アプリ」チラシデザイン	
三芳町	
観光産業課「落ち葉堆肥農法の歴史」	英語
その他の地域	
・八潮市「ハザードマップ」	英語・中国語・ベトナム語
・共同募金会上里町「歳末たすけあい」	ポルトガル語
・川越市オリンピック大会「熱中症概要」	英語・中国語・韓国語

■7-2 インターンシップ

「グローバル人材育成センター埼玉」からの依頼で、「埼玉発世界行き」奨学金を受給して海外留学した日本人学生と、県内大学に在籍する外国人留学生を対象としたインターンシップの受入れを行った。広報、生活相談、日本語支援という3つのテーマに分けて募集したところ、それぞれのテーマについて興味のある学生（日本人10名、中国人1名）が集まった。

インターンシップでの目標として①在日外国人の実情を知る②FICECの活動を知る③それぞれのテーマに沿った活動をする④今後自分達ができることは何かを考えるということ掲げて行った。

テーマ	日程	学校名	内容
多文化に向けた広報	3日間 8/4.11.18	立教大学、大東文化大学大学院（中国人）、早稲田大学大学院 計3名	現在の広報活動(HP、Instagram、Facebook、多言語情報誌)の問題点を見つけ、改善のための提案や新規企画を提案し、実践する
在日外国人の実情と課題	2日間 8/25.27	津田塾大学、獨協大学、立教大学、早稲田大学、東洋大学 計5名	日本に暮らす外国人の現状や悩み等、具体的な事例を学ぶ。生活相談の勉強会に同席する
日本語支援とやさしい日本語の研修	4日間 9/16.17.23.24	中央大学、立正大学大学院、上智大学 計3名	外国人に対する「日本語の教え方」と「やさしい日本語」を学ぶ。日本語教室で実際に日本語を教える。「やさしい日本語」での文書作りを体験する

学生の感想「インターンシップを終えて」

- ・外国人が日本に住むうえでどのような困難があるのかを知ることができた。これから、自分が出来ることは何かを考え行動に移していきたい。
- ・私が留学経験で感じた国際社会と、現在日本で起きている外国人に対する問題が大きく異なるものだった。
- ・言葉の壁により学校現場での学習が十分でない子どもの様子、その対応が十分に行われていない実態など改善すべき点が多いことに驚いた。
- ・今後も FICEC の活動に関わりたい。
- ・外国人の私は、ここまで積極的に外国人を支援する非営利の貴団体に対してとてもありがたいと思った。もっと多くの人に知ってもらうため、力になれることがあれば教えてください。
- ・外国人が日本での生活に馴染むための第一歩となる日本語の習得の重要性や、それを手助けする難しさを改めて感じた。また、日本語を教えている時や、やさしい日本語に直している時は外国人にとって理解しやすいか、たくさんの想像力が必要で「相手の立場で考える」ということを学べた。
- ・日本人、外国人のそれぞれの立場を変えて相手のことを思いやり考えることの大切さを学んだ。



令和元年度、NPO への助言・援助はありません

8 NPO への助言・援助

■9-1 機関誌「ハローフレンズ」

9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2020年1月号(152号)

- ONE TEAM で頑張ります
- 第1回生活相談研修 ●中学生が FICEC を訪問しました ●『「国民の声」を聴く会』報告
- スタッフ紹介「FICEC と関わって17年」戸塚成子 ●これからも応援しています 秋本ノエミ
- 新副理事紹介「話を聞いて一緒に悩む場所として」安銀柱
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●石井理事長の日記が本になりました
- 朝日新聞、読売新聞で FICEC が紹介されました ●今年も続きます「Café FICEC」

2020年5月号(153号)

- 心配なのは新型コロナだけです
- インフォメーションふじみのへの思い
- FICECを卒業した子どもたちの活躍12「将来の夢は起業すること」ウマル・ムハマド
- 『「国民の声」を聴く会』報告
 - 私のお国自慢「懐かしい家族の味・キムチ」安 銀柱
- スタッフ紹介「MY HOME SWEET HOME」ギャレット三宅万里子
- これからも応援しています「ふじみの国際交流センターへの思い」権田貴久子
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2 ●今後のCafé FICEC
- FICECオリジナルピンボール台制作 ●インフォメーション&広告



2020年9月号(154号)

- こんな時だからこそ！笑顔で
- ベネッセこども基金による日本語学習支援事業がはじまりました
- スタッフ紹介「行動力を活かして関わりたい」室井伸幸
- (新) おくにおやつ 「寺村壁如さんの緑豆湯」 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2
- 「外国人生活相談入門書サイドブック」を作成しました
- (新) 応援します！地域でがんばる外国人 第1回 B-Project 代表中村ブレイズさん
- インフォメーション&広告

■9-2 ホームページ・Facebook・インスタグラム

1.ホームページ

新型コロナの影響による3月から5月までの各教室、イベント等の中止、6月からの一部再開のお知らせをやさしい日本語、英語、中国語に翻訳し、HPとフェイスブックに掲載した。また外国人対象のコロナ関連情報をリンクした。

2.Facebook

●リーチ数(よく見られた)

- ①石井さんの動画1万7千件②ベネッセ無料日本語1万1千件
- ③インターン569件

●投稿クリック数(もっと見る、写真等をクリック)

- ①総会144件 ②Café FICEC フィリピンイベント120件 ③日本語教室再開111件

●リアクション数(いいね、シェア、コメント)

- ①2019年10/11NHK-World 台風のニュースリンク163件 ②石井さんの動画160件 ③ベネッセ無料日本語110件

- ・インターン生の様子を載せた回が全体的によく見られていた
- ・ベネッセの「無料で日本語を学べるお知らせ」の反応が高かった
- ・「インフォメーションふじみの やさしいにほんご」特集部分を音声と画像で投稿

3.インスタグラム

9月からインスタグラムを新設した。写真や画像を投稿する、比較的若い女性を中心によく使用されているSNSなのでイベントやボランティアの参加者が増える効果が期待される。ホームページとFacebookで伝えられないFICECの様子を中心に紹介している。投稿クリック回数平均50回



■9-3 FICEC 利用

(単位:人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	
開館日数	25	24	23	22	24	25	23	22	26	29	25	24	292	
来訪者	外国人	157	138	112	121	151	28	33	74	95	186	159	153	1407
	日本人	102	87	97	79	68	17	15	13	50	87	74	30	719
	小計	259	225	209	200	219	45	48	87	145	273	233	183	2126
スタッフ	外国人	46	47	42	36	30	22	19	24	30	28	31	29	384
	日本人	175	158	141	122	128	105	112	107	165	158	149	137	1657
	小計	221	205	183	158	158	127	131	131	195	186	180	166	2041
合計	480	430	392	358	377	172	179	218	340	459	413	349	4167	

■9-3-2 見学希望と事業の協働依頼

埼玉県でも「日本人と外国人がともに支えあう多文化共生を進める」動きが出始めた途端に、県、市町村、大学、関係機関からの訪問者が多数来所した。在住外国人のことに関心を持ってもらえることは我々にとってとてもうれしいことで、知っていることはすべて伝えようと全力で対応している。

10/9	所沢市教育委員会職員来所
10/10	埼玉県社会教育課職員来所
10/10	読売新聞記者取材
10/8	鹿児島県議会議員来所
10/28	小平市国際交流協会職員見学
10/30	JICA・ヌエック・東南アジア諸国国会議員 16 人来所
11/13	「インターシップの形式について」十文字大学教授来所
11/14	ふじみ野市役所福祉課職員と実習生来所
11/15	ふじみ野市立大井西中学校学生「多文化共生のためのリサーチ」
11/16	県立川越高校教師・放送部生徒 ドキュメント撮影依頼
12/2	KDDI のフューチャーデザイン部門職員 協働の依頼
12/3	東上線沿線新聞記者取材
12/4	JLSA (全国地域生活支援機構) 行政書士来所
12/19、1/23	埼玉県国際課職員来所
1/20	行政書士来所
1/23	県医療整備課職員来所
2/15	東京入管職員 2 人来所・関東甲信越静を一括したネットワーク組織計画の協力依頼
2月	東洋大学教授→プログラミングを外国ルーツの子供たちに教えたい。協力依頼
2月	順天堂大学→外国人が病院にかかるときの為の日本語マニュアルを作りたい。プロジェクト協力依頼
7/16	坂戸市福祉課職員来所
7/17	坂戸市社会教育課職員来所
8/5	十文字女子大学教授「日本語教員養成課程開発事業」協力依頼

9/3	JICA 埼玉・NGO ネット「埼玉国際協力情報交換会 2020」打ち合わせ
9/11	埼玉県議会議員来所

■9-4 総会・理事会・スタッフ会議

国際交流事業で活躍の安 銀柱さんを副理事長にお願いし、日本語指導員の育成に尽力してくださっている矢澤美紀さんを新理事に迎えて新たに出発した理事会であった。5月初め、FICEC 創設当時から活躍してくださっていた岩田仁さんをごんてで亡くし、スタッフ皆悲しい体験をしたが、外国人ファーストが口癖だった彼の意思をこれからも引き継いで在留外国人支援を続けていきたい。

	総会・理事会	議案	出席人数
10/26	2018年度 第5回理事会	・FICEC 組織図案 ・総会資料検討 ・総会時の役割再確認 ・入管庁長官への文書「国民の声を聴く会」 ・旧大井町役場の活用 ・定款変更について ・年度途中で新理事就任の承認を得る方法について	7
11/17	2018年度（2018年10月～2019年9月）総会/西公民館		51
11/17	第1回理事会	・新旧理事顔合わせ	11
3/28	第2回理事会	・一元的相談窓口体制（ワンストップ型相談窓口）の運営について ・あらゆる方面からの協働-共同事業依頼について ・事業費・管理費等の中間実績報告 ・ベネッセ子ども基金「経済的困難を抱える子供の学び支援活動助成金」事業 ・新型コロナへの対処と活動体制について	11
7/19	第3回理事会	・3年契約ベネッセ子ども基金助成事業の来年度以降の事業内容の検討 ・副理事2人の増員について ・定款変更について ・理事の役割分担と新理事の推薦 ・組織図案 ・弔事規定の検討 ・理事会会議費と交通費新設について ・2019年10月から2020年6月までの収入・支出状況 ・三菱財団、中央共同募金会の助成金「外国にルーツがある人々への支援活動」の応募について ・総会日程の検討	10
9/23	第4回理事会	・インスタグラム ・総会資料の年度表示の訂正について ・総会開催場所と役割 ・内規理事会交通費 ・三菱財団と共同募金会「外国にルーツがある人々への支援活動助成事業」修正予算 ・事務室、生活相談スペース、学習室の分離とレイアウト	6

月日	スタッフ会議	議案	出席人数
10/8	第1回 スタッフ会議	・アイスブレイク「日本語教育」 ・総会準備「事業報告と決算報告」 ・インターンシップ受入れ状況 ・富士見市国際フォーラムの反省	12
10/23	第2回 スタッフ会議	・アイスブレイク「日本語教育の充実と外国人の子どもに関する対策」 ・ふじみ野市平和祈念フェスティバル ・インターン受入れ状況 ・決算に関する仮報告 ・鹿児島県議会議員の来所報告 ・朝日新聞記者の取材について ・2階の雨漏りと事前の準備について ・総会後の懇親会の準備状況 ・富士見市国際交流フォーラム ・NGO ネットについて ・コープみらい財団「暮らしと地域づくり助成金」 ・交流サロンの計画	8
11/12	第3回 スタッフ会議	・理事会報告 ・JICA 主催アセアン諸国の人身取引対策担当者研修会報告 ・「毎日が波瀾万丈」自費出版 ・総会最終確認 ・FICEC 見学希望が殺到しています ・生活相談担当者研修会	12
11/27	第4回 スタッフ会議	・アイスブレイク「不就学をゼロに～浜松市」 ・交流サロン報告 ・ミック医療通訳研修会報告 ・FICEC 見学者報告 ・インターンシップ学生について ・連合埼玉「ネットワーク埼玉 21 運動」よりパソコン寄贈 ・各事業の状況と今年度の計画 ・新年会計画 ・当番の補充について ・SNS・インスタグラムの導入について	9

12/10	第5回 スタッフ会議	・曜日スタッフからの報告 ・入管庁長官「国民の声を聴く会」 ・一食運動寄付金授賞式 ・KDDI フューチャーデザイン部門4人来所 ・JLSA (全国地域生活支援機構)からのアンケート調査依頼 ・霞が関弁護士会館「非正規滞在者について」 ・ピンボール作成について ・かめのりフォーラム2020参加依頼 ・関東弁護士連合会講演について	13
12/25	第6回 スタッフ会議	・翻訳について ・インスタグラムの進捗状況 ・助成金事業終了後の同行通訳について ・ベネッセ子ども基金への申請書の検討	10
1/14	第7回 スタッフ会議	・インスタグラムの状況 ・同行通訳会議について ・新年会について ・川越高校取材協力について ・パソコン移動について ・マンスリーサポーターの現状 ・文科省「外国籍の就学、包括支援」新聞報道について	8
1/29	第8回 スタッフ会議	・川越高校放送部ドキュメント撮影進捗状況 ・日本工業大学学生が来所 ・東上線沿線日本語教室連絡会 ・県医療整備課職員来所報告 ・新年会報告 ・ふじみ野市長新年会報告 ・県国際課外国人アンケート報告 ・インターシップについて ・年間スケジュールを考える ・生活相談事例研究	6
2/26	第9回 スタッフ会議	・ミニ学習会「入管法の改正(特定技能の受験資格の変更)」・ふじみ野市長・協働推進課長との会見 ・中学生女子制服あります ・川越高校放送部のビデオ進捗状況 ・インターシップの受け入れ ・コープみらい助成金採択 ・ふじみ野市社会教育委員について ・入管庁設立 ・コロナウイルス対応について ・5月号インフォメーションふじみの記事	11
6/9	第10回 スタッフ会議	・岩田さん亡き後の日本語教室、インフォメーションふじみの事業について ・日本語教室再開 ・ベネッセ子ども基金助成事業の項目別各事業の状況 ・ふじみ野市七夕祭りと上福岡西公民館祭り中止	14
6/24	第11回 スタッフ会議	・子供に対する日本語指導法の勉強 ・ベネッセ子ども基金助成事業の項目別各事業の進捗状況 ・スタッフ会議時間変更 ・飛沫防止パネル作成について ・入管庁からの通告 ・県「相談ホットライン」を設置	11
7/14	第12回 スタッフ会議	・ベネッセ子ども基金助成事業の項目別各事業の進捗状況と問題点 ・『外国人親家庭と学校・地域との連携』のモデル事業 ・埼玉県グローバル人材育成インターンシップ ・富士見市国際フォーラム中止 ・コープみらい財団「コロナに負けないキャンペーン」助成金申請	10
8/12	第13回 スタッフ会議	・ふじみ野市「子どもの学びヒヤリング」報告 ・ベネッセ子ども基金助成事業の項目別各事業の進捗状況と問題点 ・埼玉県グローバル人材育成インターンシップの研修 ・三菱財団助成金「外国ルーツの子供を含む在留外国人の学習環境の整備と、日本語が十分でない外国人のための同行通訳事業」の申請 ・クラウドファンディング	7
8/26	第14回 スタッフ会議	・インターシップの研修の進捗状況 ・2市1町国際化会議報告 ・ふじみ野市子ども居場所作り関係者会議 ・インフォメーションふじみの・ハローフレンズ9月号 ・新年度三芳町代表理事候補 ・借室希望の学習室と修繕について ・2019年度事業報告 ・4月以降のベネッセ子ども基金助成事業	9
9/8	第15回 スタッフ会議	インターンシップ「生活相談分野」報告 ・コープみらい助成金「コロナに負けるな」採択されました ・学習環境の改善に向けて ・総会までの流れと2019年度事業報告について ・「インフォメーションふじみの」翻訳言語変更 ・ベネッセ子ども基金助成事業の今後について	11
9/23	第16回 スタッフ会議	・インターンシップ報告 ・県、ふじみ野市、西小学校、FICECとのモデル事業 ・今後のベネッセ子ども基金助成事業	7

2020年度(2020年10月～2021年9月)事業計画案

	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10人	700件
	DV講習会・生活相談勉強会	12回	FICEC、県内	10人	700人
	三菱財団助成事業 同行通訳・フードバンク	随時	FICEC、県内	10人	埼玉県民
	パソコン教室	第2・4木曜日 24回	FICEC	2人	延150人
国際理解と国際交流の推進	国際理解講座	50回	大学・市役所等	3人	4,000人
	国際交流	10回	FICEC	5人	3,000人
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6回1,800部	FICEC	13人	50万人
	生活ガイドHP維持管理	必要に応じて	FICEC	8人	45万件
	翻訳	随時	FICEC	10人	埼玉県民
	通訳	50	FICEC・県内	5人	埼玉県民
外国人児童及び成人への日本語学習支援	日本語教室	木曜日	FICEC	15人	延500人
	大井親子日本語教室	土曜日	大井中央公民館	5人	延100人
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜日	FICEC	10人	延500人
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	20人	埼玉県民
NPOへの助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	2回	県内	2人	埼玉県民
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	機関誌の発行	年3回	FICEC	10人	3,000部
	ホームページ・Facebook・Instagram	随時	FICEC	10人	40万件

2020年事業計画

コロナは一向に収まりそうもない。感染者の数が連日ニュースのトップを飾るのが当たり前になってきていて、ついにはアメリカ大統領までコロナウイルスに感染したという。ワクチンはいつできるのか。

日本語の勉強や相談に来る外国人を見ていると、自分たちの役割の大切さに、コロナを怖がってばかりはいられないと言うのが本音で、今年度も、コロナ恐怖に駆られながらも、FICECの活動は黙々と続けていかなければとスタッフ全員意気込んでいる。

1998年12月にNPO法が施行されて、どこのNPOでも創始者の高齢化が問題になっている。FICECも右に同じで、持続可能なNPOにするために、今年度は副理事長を三人に増やした。そのうちのお一人を理事長補佐と決め、万全の体制を整えている。また理事の交代に伴って、今年も新理事を迎え入れることになっている。

また今年は三菱財団と中央共同募金会から「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成事業」の助成をいただいて、学習室の環境整備に伴う大改修工事も始まる。

この助成金による活動の目的は

- 1 学習環境の整備：3密を避けるための学習専用の部屋の設置
- 2 生活相談対応の強化：気兼ねなく相談できる場所を設置する
- 3 ネット環境の整備：オンライン専用のパソコン購入と Wi-Fi 環境を整える
- 4 貧困家庭への食料配布：フードバンクとの連携と食品棚の設置
- 5 無料同行通訳の実施：年 50 回程度の同行通訳料と交通費の計上

コロナとの戦いはまだまだ続くだろう。学習室と事務所部分をリニューアルし、換気・消毒・マスクの着用・飛沫防止シートの完全設置・3密の回避等、あらゆる事に万全の注意を払いながら、大勢の皆様からの温かい心のこもった寄付と、行政の理解に支えていただいて、今年度も多文化共生社会の実現に向けて、スタッフ全員で活動していきたい。

(文責：石井ナナエ)

● 生活相談

入管庁主催のオンラインによる学習会が開かれるようになった。機械の操作に戸惑いながらも、FICEC 事務所で最新の入管法や政府の各機関の制度やしきみ等を勉強出来る。今まで生活相談に関わっていなかったスタッフも参加出来、関心を示してくれるスタッフが増えていることを心強く思っている。



相談内容は貧困・家賃の未払い・休業・廃業・出勤休止などコロナに関わる問題が多い。また障がいを持った外国人を巡る相談や、アフリカ系の難民申請中で特定活動ビザの人達からの相談も増えている。

政府は、強制退去の命令を受けていながら退去せず、長期にわたって収監されている不法滞在の人を準難民として受け入れ、生活保護を支給する事に決めた。埼玉県内に多く居住する特定活動ビザの、難民とは認められない人たちに対する待遇も、近いうちに大きく変わるかもしれない。どんな在留資格の人でも差別せず、一人の人として真摯に向き合い問題解決に努めていきたい。

● 国際子どもクラブ

- ・ 学校で学べていない中学生、学校に行っていない中学生、高校生の支援を考えたい。
- ・ 中高校生が気楽に集まれる「居場所作り」を、ふじみ野市と共同して取り組みたい。

● 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」

この地域の在留外国人の必要言語の統計によると 2 位にベトナム語が入っている。このことを踏まえ、「英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、フィリピン語、日本語」の 7 カ国語での情報とすることを決めた。また、その他の言語に対応するため、ネット上のみの掲載となるが「やさしい日本語」の配信をスタートした。刻々と変化している外国人の事情に柔軟に対応していきたいと思う。

埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

理事長 石井ナナエ

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-25
TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291 <http://www.ficec.jp/>